

加藤学園高校ニュース

平成22年2月18日 加藤学園高等学校広報部発行 第22号



平成21年度 第43回校内合唱コンクール 優勝クラス SPII1 「YELL」

合唱コンクール開催される

更に飛躍の年へ

学校長 加藤 瑠美子

すべてのものが新鮮に感じられる年の始めは、学園にとって
は重みのある三学期のはじまりでもあります。

三年生においては、既に進路の決定した人は、それぞれの進
路に備えて、更なる研鑽が必要な時、これから受験に向かう人
は、合格をめざし全力を傾注する時、いずれにしても三年生に
とっては、人生の大きな節目の時といえるでしょう。また一、二
年生にとっても、次の学年につながる重要な期間でもあります。
生徒の皆さんには、短いこの三学期、気を引き締めて頑張っ
ていただきたいと思っています。

昨年を顧みますと、成長著しい皆さんの姿が思い出されます。
一学期では、暁野祭での三年生の活躍が印象的でした。下級生
をよくリードし範を示してくれた文化祭。体育祭では、その実
力を存分に発揮し、貫禄を示してくれました。

二学期においては、一、二年生が大活躍してくれた合唱コン
クール、特に決勝は圧巻でした。クラスの心がひとつになると
あんなにも、素晴らしいハーモニーになるのだと、今でもその
時のことを思い出すと胸がジーンと致します。

また各部活もたいへん頑張りました。文化部、運動部が共に
活躍してくれているので学園に活気があるのだと思います。し
かし、各役員達も毎日平穏な日はかりではなかったでしょう。
涙が出る程くやしい思いをしたり、時には部活をやめようと思
ったこともあったと思います。しかし、泣いた分だけ結果が出
た時の喜びや満足感は、私の想像を超えるものがあると思っ
ています。

皆さん方には限りない素晴らしい未来と才能があると確信致
しております。

本年が更に皆さんにとって飛躍の年になりますよう、祈念申
上げます。

カトガク歳時記 九月〜十二月

私のひとこと

今年度も九月に日本語弁論大会「私のひとこと」が実施された。五百人近い同級生たちを前にしてスピーチをするのは大変なことであるが、発表者たちは原稿をほとんど見ずに、ジェスチュアやパフォーマンスを交えながら、それぞれのテーマに沿った素晴らしいスピーチを披露してくれた。聴衆の生徒たちも、真剣に耳を傾けていた。



2年生の部 金賞 井出有慧さん



1年生の部 金賞 山本昇太郎君



3年生の部 金賞 戸嶋綾花さん

<p>一年生の部 審査結果</p> <p>テーマ「最近のニュースで考えたこと」最近心をうたれたこと</p> <p>金賞 山本昇太郎 SPII</p> <p>銀賞 川崎峻介 SPII</p> <p>銅賞 小松拓哉 PI6</p>	<p>二年生の部 審査結果</p> <p>テーマ「日本文化について」福祉について「印象に残った言葉」</p> <p>金賞 井出有慧 GII</p> <p>銀賞 鈴木友理 PII5</p> <p>銅賞 萬美里 SPII</p> <p>特別賞 齋藤陽子 PII</p>	<p>三年生の部 審査結果</p> <p>テーマ「高校生活で得たもの」</p> <p>金賞 戸嶋綾花 SPII3</p> <p>銀賞 小池舞 PIII3</p> <p>銅賞 小野麻衣子 GIII3</p>
--	---	---

テーブルマナー教室

十月二日(金)に三年生のテーブルマナー教室を実施した。特進部は淡島ホテル、進学部はブケ東海沼津、総合学部と商学部は沼津東急ホテルにて、フルコースを堪能しながら楽しくテーブルマナーを学んだ。



東急ホテルでのテーブルマナーの様子



ブケ東海でのテーブルマナーの様子



淡島ホテルでのテーブルマナーの様子

遠足

十月二日(金)に一年生は遠足へ出かけた。当日は朝からあいにくの悪天候ではあったが、特進部は箱根、進学部は横浜、総合学部は鎌倉へと出かけ、クラスメートたちとリラククスした楽しい時間を過ごした。



特進部 箱根への遠足の様子

文化講演会

十月二十三日(金)に富士常葉大学環境防災学部の教授で、地震防災の専門家である小村隆史先生をお招きして「被害が先読みできるなら打つ手はある！〜東海地震で人生を狂わされないために、今、何を学ばよいか。」と題した文化講演会を実施した。



巧作®を駆使した講演会の様子

性教育講座・自転車マナー教室

十一月二十五日(水)の五・六時間目に一年生を対象とした性教育講座、自転車マナー教室を実施した。性教育講座では、関野クリニック院長の関野章一先生をお招きし、「知っておきたい性感染症の知識と予防」というテーマでお話いただいた。自転車マナー教室では、東部自動車学校職員の方のご指導の下、生徒の代表が実際に自転車に乗って違反運転と交通ルールに従った正しい運転を行い、それを見ながらみんなで自転車乗車マナーを学んだ。



傘差し運転は危険です



交差点では必ず一時停止を!

身だしなみ講座

十二月五日(土)に、徳育授業の一環として三年生を対象とした身だしなみ講座を実施した。紳士服メーカー青山から講師をお招きし、社会人として身につけてはならない身だしなみの知識について学んだ。間もなく一般社会へ旅立っていく三年生にとってはいへん貴重な時間となった。



正しいスーツの着こなし方について学んだ



生まれて初めてネクタイを結んだ人も

合唱コンクール

合唱コンクールを終えて

SP II 1 指揮者 萬美里

私たちのクラスは、女子の方が多いクラスであるため、選曲の際に男子に負担がかからない曲を選ぶように考えすぎ、なかなか曲を決められなかった。決定後も、中間テスト等の理由で練習が始められず、気がつけばコンクールが三週間後に迫っていた。

いざ練習が始まってみるとパートでは歌えているのに、合わせてみると自信がなくなり声小さくなってしまったり、歌詞を覚え切れていなかったりと前途は多難であった。そんな状況を見かねた担任の浅井先生が、音楽の前田先生に指導を頼んでくださったおかげで、私たちの合唱は大きく変わり、合唱の練習に熱が入り始め、歌詞の意味を考えてどのように歌えば聞き手に伝わるかを相談したり、強弱の付け方に気をつけるようになった。

しかし、予選の直前になって伴奏者が新型インフルエンザに感染するというアクシデントに見舞われ、思案した結果、急ぎよ



第2位 SP I 1 「走る川」

アカペラに変更となり、戸惑いながら予選当日を迎えた。結果はどうか決勝進出。決勝では、予選で気になったところに注意し、美しいハーモニーを聞かされるように意識して歌った。不安な気持ちのまま結果発表を聞いていたが、思いがけない優勝を手にすることができ、泣いている人も大勢いた。ここまで見守ってくださった先生と一緒に練習してきたクラス全員で手にした優勝は、本当に素晴らしいものだと思う。



第3位 P II 6 「聞こえる」

平成21年度 第43回校内合唱コンクール(決勝) 11月13日(金)

審査結果

優勝	SP II 1	YELL	指揮:萬 美里	
第2位	SP I 1	走る川	指揮:宇津木光紀	伴奏:小山舞子
第3位	P II 6	聞こえる	指揮:佐々木 駿	伴奏:石井美空
第4位	P I 5	明日への扉	指揮:曾根奏江	伴奏:藤田みほ
第5位	SP II 2	明日への扉	指揮:内村綾花	伴奏:小口 彩



第4位 P I 5 「明日への扉」



第5位 SP II 2 「明日への扉」

インターアクトクラブ 発足

平成二十一年九月二十三日、加藤学園高校インターアクトクラブ(以下IAC)が正式に発足した。インターアクトとはインターナショナルとアクションを合わせた造語である。奉仕の活動の輪を世界的に広げていこうというもので、国際ロータリーの認可の下、一九六二年にアメリカで世界初のIACが誕生した。現在では世界一二〇カ国に八千七百ものクラブがあり、二十五万人の会員がいる。当クラブの所属するR I 2620地区(静岡・山梨)の二十一の高校にIACが存在している。

主な内容は一言でいうとボランティア活動である。加藤学園高校IACでは、十一月に沼津市の一斉クリーンキャンペーンに参加した他、年末には沼津駅の北口と南口でそれぞれ赤い羽根と緑の羽根の募金活動を実施した。まだ発足したばかりで、部員も二十名程度と少ないが、今後は、ロータリークラブや地域の人々、また一般の生徒達と協力し、活動の幅を広げて



月1回例会を開き活動について話し合う



部員募集のポスター



インターアクトクラブのメンバー



沼津駅南口での緑の羽募金運動の様子



沼津駅北口での赤い羽根募金運動の様子



2学期終業式にて活動報告を行う

音楽部 第五回 定期演奏会開催される

九月二十六日(土)に、沼津市民文化センター小ホールにて音楽部の定期演奏会が行われた。日頃の練習により培われたチームワークを十分に発揮し、三部構成の多彩なプログラムと息の合った合唱や合奏で、詰め掛けた多くの聴衆を魅了した。



独唱:万殿文香さん 伴奏:吉田夏子さん



お揃いのシャツを着て見事なハーモニーを響かせた



コンサート終了後の記念撮影



「ダンシング・スター」に合わせて華麗なダンスを踊る



第2部 合奏の部では多彩な楽曲を披露

学生茶会に 本校茶道部が参加

十一月十五日(日)に本校の記念館にて学生茶会が開催され、近隣の高校より多数の茶道部員らが来校した。本校の茶道部生徒たちも、日々稽古を積み重ねて習得した見事なお点前を披露し、本校の校訓「至誠」の精神でお客様たちをもてなした。



多数の高校の茶道部員たちが参加した



お点前の披露と本日の趣旨説明の様子

カトガク部活動大活躍***

陸上部 快進撃

本校陸上部が様々な大会で大活躍し、実績を残した。主な大会の成績は次の通り。

*東海高校新人大会 十月二十五日 一五〇〇m 第五位

神谷優花さん(P12・長泉北 中出身)

*静岡県高校駅伝大会 十一月七日

男子 第四位(二時間十四分三十一秒・東海大会出場)

女子 第八位(二時間十七分三十二秒・チーム記録)

*東海高校駅伝大会 十一月二十二日

男子 第七位(二時間十分九秒・チーム記録)

出場メンバー(右より区間順)

田村拓真(P13・長泉北中)

柏木宏亮(SPI3・長泉北中)

若生直人(P13・原中)

渡辺嘉克(C12・函南中)

井上 渉(P11・吉原第二中)

谷 直也(P13・長泉中)

鈴木ワタル(P14・清水中)

また、十二月五日(土)に静岡市で開催された静岡県市町村対抗駅伝大会に、本校生徒十四名が選ばれ、うち十一名が各市町村の代表

として力走を披露した。その中でも田村拓真君が十一人抜きで区間賞を受賞し、長泉町の優勝に貢献した。また清水町代表の久保汐里さん(P13・清水南中出身)も区間賞を受賞した。田村君は一月二十四日(日)に広島市で開催された全国都道府県対抗男子駅伝大会に、静岡県代表選手として出場し、静岡県が全国十七位となる原動力となった。



田村拓真君の力走 (P13・長泉北中出身)

ゴルフ部

土江隼人君

関東高等学校ゴルフ選手権 冬期大会に出場

十一月に開催された静岡・山梨県高等学校ゴルフ選手権大会で、ゴルフ部の土江隼人君(P13・函南東中出身)が上位に入賞し、十二月二十二日(火)より千葉県の一の宮カントリークラブにて開催された関東高等学校ゴルフ選手権冬期大会に出場した。

男女ソフトテニス部

三ペアが東海大会へ出場

男女のソフトテニス部が静岡県新人大会ソフトテニス競技において活躍し、次の三ペアが東海大会に出場した。

○佐々木駿(P16・蕪山中 出身・山本隆一(G15・原中出身)ペア 第五位

○山中彩加(SPI1・大仁 中出身・高木みら(C11 2・長泉中出身)ペア 第三位

○長澤由麻(P16・蕪山中 出身・村井梨花子(P1 2・三島南中出身)ペア 第五位

チアリーダー部

「千本賞」を受賞

本校のチアリーダー部が各種大会での成績や、老人ホーム・知的障害者施設訪問などの社会的活動が認められ、沼津ライオンズクラブが主催する「千本賞」を受賞した。本校からは過去に同賞を日本舞踊部や化学部が受賞している。
